

3年	科目	歴史	講義	通年	担当	鈴木登 Suzuki Noboru
物質工学科		History	必修	2履修単位		
授業の概要						
「世界の一体化」が始まった16世紀以降の歴史を経済発展と戦争を中心にアメリカ合衆国とドイツに焦点を当てて学習してもらう。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
歴史学習によって、この複雑な現代の世界を考える視点を少しでも提供したいし、歴史学習によって純粋に歴史や文化に興味を持ってもらいたい。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	歴史学習の意義				
第2回		現代アメリカの問題点				
第3回		大航海時代				
第4回		立憲主義・議会政治・民主主義				
第5回		イギリス革命				
第6回		アメリカ独立革命・アメリカ合衆国の領土拡大				
第7回	前期中間試験					
第8回		南北戦争とその結果				
第9回		アメリカ合衆国の重工業化と大国化				
第10回		アメリカ合衆国の繁栄(第一次大戦とロシア革命)				
第11回		世界恐慌とニューディール				
第12回		第二次世界大戦				
第13回		冷戦とアメリカ外交(ベトナム戦争)				
第14回		同時多発テロからイラク戦争(今日のアメリカとイスラム教)				
	前期末試験					
第15回		ドイツの統一				
第16回		第一次世界大戦とヴェルサイユ条約				
第17回		ワイマール共和国				
第18回		ヒトラーとナチスドイツ				
第19回		ユダヤ人問題とホロコースト				
第20回		戦後のドイツ				
第21回		明治憲法体制・韓国併合				
第22回	後期中間試験					
第23回		中国の近代化				
第24回		大正デモクラシー				
第25回		政党政治				
第26回		軍部の台頭				
第27回		日中戦争				
第28回		太平洋戦争				
第29回		今日の日本				
	後期末試験					
第30回		最終講義				
評価方法 と基準	中間・期末試験70%、課題評価20%、授業態度10%					
教科書等	詳説世界史 木村靖二 佐藤次高 岸本美緒(山川出版社) 最新世界史図説タペストリー					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					